

# 平成30 (2018) 年度 高校生のための放送技術講座 (4) 報告

参加申込：25校 (うち2校は府外) 生徒 84人 / 顧問 29人 (午前 27人 / 午後 26人)  
午前) アナ・朗 46人 / 番組 33人  
午後) アナ 28人 / 朗読 22人 / 番組1 20人 / 番組2 14人

日 時：平成31 (2019) 年1月27日 (日) 9時30分～16時  
会 場：大阪府立箕面高等学校 (箕面市牧落 4-8-66)

時 程： 9：30～10：00 午前の部受付  
10：00～10：15 開会行事・諸注意・連絡  
10：20～12：00 放送技術講座：指導者講座の伝達講習  
12：30～13：00 午後の部受付  
13：00～16：00 放送技術講座：アナウンス、朗読、番組1、番組2  
※閉会行事はありません

講 座：

○午前：12月に東京で行われた指導者講習会に参加した先生方による伝達講習です。  
模擬審査等を含みます。

## ① アナウンス・朗読・・・【視聴覚教室】

講師：伊藤 元也 先生 (四天王寺学園高等学校) 瀧藤 順聖 先生 (四天王寺高等学校)  
竹中 泰子 先生 (相愛高等学校)  
内容：生徒交流、アナウンス・朗読模擬審査、グループ討議

<生徒アンケート回答 午前：アナウンス・朗読>

- ・アナウンス・朗読の審査基準がわかったので、それを参考に練習していきたいと思いました。また、他校の生徒とも関わられたので良かったと思います。
- ・朗読とアナウンスの審査で、実際に音源を聴きながら自分で考え、その後、解説してもらえたので、どうすれば良い朗読ができるのかがなんとなくわかってきたような気がしました。
- ・自分が審査員側となって点数をつけることが (今まで) なかったのですが、点数をつけるとなると、より細かく見ようとして集中して聴けました。自分よりももっと実力のある先輩方と話し合えて、色々な視点でのディスカッションができてとても楽しかったです。
- ・交流が楽しかった。とても勉強になった。
- ・審査基準についての詳しい話が聞け、アナウンスや朗読のポイントがよくわかってとても良かったです。
- ・昨年と同じく模擬審査だったからやりやすかったと思う。
- ・採点基準などがよく分かった。言葉のたて方など。
- ・実際に、自分たちが採点を行うことで、どういう目線でチェックされているのかが、改めて認識できました。
- ・初めてすることで楽しかった。もう少し人と話ができたらと思う。
- ・聞き比べをするのは初めてだったので興味深かった。
- ・グループの話し合いがあまり盛り上がらなかった。
- ・他校の人との交流をする機会があまりないのでとても良かったです。
- ・グループになって話すことはすごくよかったです。しかし意見交流の時間が少ないように思えました。
- ・他校の人との交流もできたし、自分では気づかないところなどきけてよかった。
- ・実際に審査をすることで、自分の改善点や具体的にやるべきことが見えてきました。
- ・模擬審査で自分の感覚がわかってよかった。
- ・アナウンス・朗読がわかりやすかった。

- ・初めて採点をしてみてむずかしかったけど、1人1人好みがあり、みんなが全く同じことを思うのではないことがわかった。
- ・技術講座に来てみて、こんな配点で点をつけているんだとわかって良かったと思いました。
- ・実際の音声を聞き、細かくお話を聞くことができ、とてもためになりました。
- ・読み方の違いによってこんなにも差があることが分かりました。
- ・普段は採点するということがなかったので、とても新鮮でした。
- ・聞き比べて分かることが沢山ありました。
- ・他の人の意見をきくことで違う見方ができました。
- ・グループワークはとても良かった。
- ・実際に審査する側に立ってみると文章内容やどういう風に読めばいいかなど、気付かないところに気づきました。

#### <先生アンケート回答 午前：アナウンス・朗読>

- ・原稿の大切さ、朗読の評価についてよくわかりました。
- ・カツサンド、多くの方が読んでいましたが、あの抽出の良さが私にはわかりません。魅力を理解できず、苦しんでいます。
- ・実際の録音を聞いて、模擬審査をするというのが興味深かった。基準もよくわかった。
- ・模擬審査は良い取り組みだと思いました。審査の視点（基準）について、具体例が示されるとよりわかりやすかったのではないかと思います。
- ・互いに討論させる、いわゆる「アクティブラーニング型」の講習会で、飽きずに集中が保てていたと思います。
- ・いくつかの評価基準があるのだということがわかりました。
- ・初心者の生徒を連れてきたので心配していましたが、多くを学ぶことができたようで何よりでした。
- ・東京の指導者講座に参加したいと思いつながらなかなか参加できません。参加された方のリアルな話がきけて、大変参考になりました。審査はやはり難しいですね。
- ・次は伝達できるようにがんばりたいと思います。
- ・昨年と同様に、模擬審査ができてよかったです。
- ・昨年は取材人数に注目していましたが、今回はリスナーとしてどう感じるかにシフトしていたので、審査は大変だと感じました。
- ・「カツサンド」3種類、おもしろかったです。
- ・実際に生徒たちにNコン上位者の発表を審査させることにより、「審査っていったい？」といったものが少しは理解できたのではないかと。よかったです。
- ・生徒自身に審査をしてもらうことにより、講義での講師の先生の説明が良く理解できたのではないかと思います。
- ・採点競技の公平性の担保は難しい（不可能）と改めて感じました。特に朗読はその傾向が顕著。

#### ② 番組・・・【食堂】

講師：戸野 佑亮 先生（府立槻の木高等学校） 酒井 学 先生（府立堺西高等学校）

内容：放送部活動の実践例を参考にしたワークショップと番組の模擬審査（創作テレビドラマ）を行った。

#### <生徒アンケート回答 午前：番組>

- ・他校と話せるいい機会になったと思う。
- ・生徒と審査員の差を知ることができてよかった。
- ・全国のテレビドラマの審査基準や偉い方の評価が自分とどのくらい違うのかを知ることが出来ました。
- ・番組の評価をはじめたのですが、自分が良いと思った作品と、評価されている作品はちがっていました。でも、感じ方がたくさんあるということが改めて分かっておもしろかったです。番組制作はしたことがないので、勉強になる話も多くてとても良い時間になりました。
- ・予定の都合上、ラジオドラマ作成途中の身ながら、番組の審査討論に参加させて頂きました。昼の放送しか活動として行っていない私たちにとって、上位者の作品を見させて頂くことはすごく刺激のある実になることでした。今回のテレビドラマの良さを踏まえつつラジオに活かせるよう努力していきたいです。

- ・「私たち高校生と放送」ということが一番大切だと思いました。
- ・大まかな目標はあるけど、なかなか進まなかったので、オープンウィンドウ64のやり方をやってみます。
- ・考え方が変わりました。
- ・模擬審査で見たビデオの編集や技術を見て、自分も学びたいなあと感じ、見た技術を盗んでやろうと考えました。CGは難しいかな。
- ・上位の作品を見れたことがとても嬉しい。しかも、当日審査された結果やコメントが聞けてさらに嬉しく思いました。充実した午前の部でした。
- ・テレビドラマの審査を体験した。かなりの発見と他の学校のレベルの高さを見せてもらった。いい経験でした。
- ・番組の審査を体験できておもしろかった。
- ・話も面白く、他校との意見交流が出来てよかった。
- ・眠くならなかったというのが何より面白かったという証拠です。
- ・番組のこともよく理解出来たし、帰って部員に広めようと思います。
- ・“チームワークが大事” 忘れないようにします。
- ・具体的な目標を決めて頑張ろうと思いました。
- ・準決勝の作品を見て、自分たちとの相違点がわかりよかったです。
- ・色んな人の意見をきいて「やっぱり同じ世代でも着眼点が違うんだな」と思ってちょっと楽しかったです。

#### <先生アンケート回答 午前：番組>

- ・とても意欲のわく内容でした。
- ・過去の優秀作を見て刺激になる生徒がいると思うので良いと思う。あまり点数の高くない作品をまぜて、大きな違いを比較してみたかった。
- ・伝達に戸野先生のバイアスがかかっているのが、実に心地よかったです。模擬審査に入る前の、部の組織や目標、目的のくだりも勉強になりました。
- ・三作品の見比べを通して、それぞれの特長がよく分かりました。実際の点数や、評価する側の意見を聞いたことで、生徒たちにとって作り手を意識するきっかけが得られたのではないかと思います。
- ・審査員の視点を通して番組を考えることで、自分たちが番組を作る際の見せ方を考えさせる方にもっと誘導したかったが、そこは今後の講座で考えていきたい。

○午後：アナウンス、朗読、番組1、番組2に分かれての技術講座。

#### ① アナウンス・・・【視聴覚教室】

講師：仲山 豊秋 先生（立命館大学 文学部 人文学科言語コミュニケーション専攻 教授）

NHK 元アナウンサー。専門は「言語表現」「音声表現」「言語伝達」「日本語文化」

内容：池上彰さんのMCに見る「人を惹きつけるテクニック」と「伝わる読み」について講義を受けました。

#### <生徒アンケート回答 午後：アナウンス>

- ・読みには色々なスキルがあることが分かりました。
- ・仲山さんには夏に一度指導していただきました。今回は基礎で仲山さんに指導して頂き、改めて気付いたことが多くありました。
- ・アナだけでなく、日頃の会話でも使える話し方のテクニックも分かったので、実践していこうと思います。
- ・元NHKアナウンサーの「放送部のアナウンスは古い」という話がおもしろかった。
- ・基本をしっかり勉強できた。
- ・とてもわかりやすく、ためになる講座でした。
- ・今後の大会に向けたいろいろなコツやアドバイスなど、たくさん教えていただけてとても参考になりました。
- ・これからの活動に活かしていこうと思います。
- ・相手に伝わりやすいアナウンスを教えていただけて、すごく参考になりました。
- ・いままで知らなかったことがたくさん聞けて、とても勉強になった。

- より聞き手を意識したプロの技術を知ることができ、とても参考になりました。
- 作文のやりかたがよ〜くわかった。
- 細かい技を実践して頂き、わかりやすかったです。
- 上から下のアクセントの大切さなどがよくわかった。
- 上から下へ読むことが分かって、文のつくり方などとてもいっぱい学べたと思います。
- 話を受けてからの「実践する時間」が欲しかった。
- 今まで気にしていなかったことに、気づかせていただきました。すごくためになったと感じました。
- プロの先生に教えて頂いたおかげでアナウンスについて深く知ることができました。
- 世界観というのが初めて聴く言葉でとても参考になりました。
- 実際にアナウンスしたことで、自分のアナウンスの現状を知ることができて良かったです。
- 池上彰さんにスポットをあてていて、聞きやすかったです。
- これまで、課題研究の発表やプレゼンテーションでは文は短くと口酸っぱく言われてきたが、あまり意識をしてこなかった。なので、結局プレゼンテーションの原稿は長くなっていた。英語で表現することも多いこのご時世で、しっかり相手に伝えるためにもしっかり実行していくようにしたい。
- 今日教えてもらったことを実践していこうと思いました!!
- ちょっと専門用語が出てきて分からないところもあったけど、ものすごく分かりやすかった。
- 仲山先生の声、音、スピード、世界観の使い分けがすごく、私もここまで出来るようになりたいと思った。
- アナウンス原稿の書き方や、読み方など、今のアナウンスに必要なことを学べたので、今後の活動に活かしたいと思います。
- NHKのアナウンサーの方に話も聞けて勉強になりました。

#### <先生アンケート回答 午後：アナウンス>

- 分かりやすく、指導の参考になりました。資料も丁寧で参考になった。
- 仲山先生のお話は、朗読について聞いたことがありますが、アナウンスでも「自然に、はなすように」と伝えられていて、指導していく上で認識を改めていかなければいけないなと思いました。
- 一息でいう、心がけます。
- 強調表現を意識できるよう指導していきたいと思います。
- 1部は要点が得られず、難しかったです。2部は“今までのアナウンスから変えていかなければならない”といった内容にはビックリでした。でも基礎から教えてもらったのでよかったです。
- 後半のスキルについてもっと聞きたかった。
- 原稿について、仲山先生に実際に書く講座を開いてもらいたい。
- 現場での幅広い経験、ノウハウをもとにした、具体的な理論の説明で、生徒の要求に合うものだと思います。
- 切り口が斬新で非常に面白かった。
- 元NHKアナウンサーが言うことだったので尚更勇気を持って原稿改革・読み方改革できそうです。e-learning教材にしたいくらいです。

#### ② 朗読・・・【十字棟2階 社会科教室】

講師：鎌田 潤 先生（放送コンテスト元委員長）

内容：来年度のNHK杯コンテストに向け、指定作品の抽出箇所についての講義でした。

#### <生徒アンケート回答 午後：朗読>

- 作品や選ぶ箇所を決めるときに、考えなければいけないことがたくさんあって、びっくりしました。朗読で大切な事は、自分の感動したことを相手に伝えることだということがわかりました。
- やはり自分がその文章にどれくらい惚れ込んでいるかは大事だと感じた。Nコンの課題本もよく読み、このことを活かして文章を選ぼうと思った。
- 朗読の奥深さや難しさを改めて実感しました。自分よがりの「伝える」ではなく、相手と作者を意識していこうと思います。花子さんトレーニングもぜひ取り入れようと思います。

- ・昨年も参加しましたが、そこではわからなかったこともわかり、より抽出箇所を選ぶことに役に立ちそうです。
- ・お話が上手で面白かったです。
- ・知らなかったことを学べた。
- ・Nコンに向けて、どのように朗読箇所を決めれば良いか見通しが立てられたと思います。
- ・朗読の抽出や読みで大切なことをわかりやすく教えていただけてとても参考になりました。

<先生アンケート回答 午後：朗読>

- ・朗読の審査ポイントが分かりました。本をしっかり読んでおくのは絶対ですね。
- ・実例をもとに抽出のことを教えていただきました。「立てる」ということや、低音に苦しむ生徒の悩みが解消しそうでとても嬉しく思っております。
- ・理論から具体まで初学者もわかる内容だったのがありがたかったです。単なる「指定作品の抽出箇所」の説明にとどまらず、様々な応用のきくお話でした。ありがとうございました。
- ・朗読の指導に際して、ついつい感覚的になることが多く困っていました。注意ポイントを体系的に整理していただき大変参考になりました。
- ・話が長いところもあったが、どういう部分を抽出すべきか参考になった。
- ・先生の見識の幅広さ、奥深さを感じました(いつもですが)。生徒の声をもとに、またお話を伺えたらと思います。ありがとうございました。
- ・やっと一通りの準備の流れがわかりました。ある程度、生徒に助言できるかもしれません。

③ 番組1・・・【食堂】

講師：井村 慎介 先生 (関西テレビ放送株式会社 編成局編成部)

高校時代放送部で活躍され、現在は関西テレビで編成の仕事に携わっていらっしゃいます。

内容：会場にカメラを設置して、「カメラワーク」「撮影手法」についてお話いただいた後、現在作成中のドキュメント番組を参考に、「企画・取材の進め方」について様々な意見をいただきました。

<生徒アンケート回答 午後：番組1>

- ・カメラの技術、用語、必要性などや番組構成方法などを教えてくださったこと、何よりあらゆる未完成の番組を拒否せずに、活路を見出していただけなのがすごいなあと思いました。
- ・とても勉強になりました。悩んでいた部分も解決しました。ありがとうございます。
- ・色々な話をくわしく聞けてよかったです。
- ・番組以外の話も聞けてよかったです。
- ・ラジオドラマの課題の紙(宿題)についての意見が聞きたかったです。
- ・私はカメラマンをしていたのですが、カットについての話を活かして撮影をするよう意識しました。カメラマンをすると会場について伝えるために、情報をカメラに収めようとし、より話が頭に入り、また同時にカメラマンの大切さを知れたのでよかったです。
- ・後半のNコンに向けての話は全然分からなかった。
- ・プロの方の意見を頂いて、これからやる事をハッキリすることができたと思いました。これからもこのような話を聞いてみたいと思いました。
- ・自分たちのドキュメントの事に対してプロとしての目線で新しい切り口を教えてくれたことに感謝です。
- ・カメラワークがどんな風な効果を与えるのか知れてよかった。番組のアドバイスもいただけてよい講座だと思った。
- ・構成などもっと考えてみたいです。
- ・色々厳しいことも言われたが、とてもためになり、勉強になった。
- ・カメラワーク用語を知ることができてよかった。
- ・ドキュメンタリーのテーマの掘り下げなど、放送のみならずふだんから使えるようなことも教えていただくことができた。
- ・ドキュメント作品で他校の作品のモチーフなど色々学ぶことができ、とてもよかったです。

<先生アンケート回答 午後：番組1>

- ・ドキュメントのテーマについての視点が非常に参考になりました。特に見る側にとって共感できるか、普遍性がある作品であるかという点の重要さを改めて実感しました。
- ・話題の構成の方法など勉強になりました。普通の話題も井村先生がおもしろく構成されることがまるでマジックのようでした。
- ・構成の仕方によって番組の伝える内容が大きく変わることを生徒も身を以て知ることができたと思う。番組の切り口や見せ方をあそこまで深く掘り下げてもらえる機会は非常に貴重だと感謝しなかった。

④ 番組2・・・【北館1階 3年2組教室】

講師：伴 慎一 先生（府立今宮工科高等学校） 酒井 学 先生（府立堺西高等学校）

内容：講師の側で録音機材のセットを準備し、それを使って1分程度のラジオドラマを作りました。

機材やケーブルの種類、ソフト（Sound Engine Free）の使い方を説明しました。

<生徒アンケート回答 午後：番組2>

- ・様々な機材に触れることができて良かったです。また、パソコン・アンプのつなぎ方がわかって良かったです。
- ・知らないことがいっぱいあって勉強になりました。
- ・基礎的な事を知れてよかった。
- ・他校生の方との交流もあり、主にラジオドラマの録音の仕方や、編集ソフトなどを教えていただいてとても勉強になりました。自分の学校でも番組を作ってみようと思いました。
- ・録音の仕組みから分かることができて、とてもためになった。
- ・普段の部活では、使ったことのない機材やソフトに触れられて、また1つステップアップできました。
- ・今まで番組に関わることを1度もしたことがなかったので、「やってみて」と自由にされた時、本当に大丈夫かなと思ったのですが班のメンバーの方が教えてくださり、アシスタントのお二人や、先生方のおかげでなんとか作ることができました。自分1人でもこういったことをできるように今日の経験を校内活動に活かしたいです。

<先生アンケート回答 午後：番組2>

- ・他校の放送部さんと一緒に作業することで、自然と情報交換とスキルアップができていて、とても効果的な取り組みでした。
- ・実際に配線してみたり、番組をつくってみたりと知らないことばかりながら、周りの生徒と協力しながら楽しそうでした。友人もできたようで和やかな雰囲気感謝しております。
- ・他校との交流をしつつ、一つの番組を作るという成功体験を積み重ねることができて良いと思った。in→outの流れ図のようなものがあると復習しやすいのではないかと  
( マイク out → in ミキサ out → in A/D変換 out → in PC )

<アンケート回答 その他>

- ・午前もアナウンスと朗読を分けてほしいです。
- ・午前のアナ郎を別々に分けてほしい。
- ・もう少しアクセスのいいところを会場にしてほしいです！
- ・他校との交流をもっと行いたいです。
- ・アナウンスと番組の講習に参加して収穫できたものがたくさんありました。
- ・時間は守ってください。
- ・今回の講座で学びたい内容が学べました。
- ・脚本を書くコツを教えてください。
- ・初めて、他県に来て講習を受けたので、緊張しましたが、周りの雰囲気もよくてとても満足できる講習でした。

- 兵庫から参加させていただきました。今後ともよろしく申し上げます。
- 今日は英検のため、参加できない生徒がいます。受験にかかわるので、これからは頭が痛い…。
- 番組2は初歩的なことから教えてもらってとても助かりました。11月の新人大会の出場人数が制限されたのは残念です。1年生を出場させる高校と、2年生を出場させる高校で分かれてしまいます。入賞人数も少ないのでNコンと変わらない感じです。
- 滋賀県とは全く違う雰囲気圧倒されながら、とても実りのある時間になりました。
- 今日、英検で参加できなかった生徒にもしっかり伝えます。ありがとうございました。
- 他県からの参加に道を開いてくださりありがとうございました。今後ともよろしく申し上げます。
- 後輩への指導の仕方が分かりません。